

# おおくら

★市民センターだより★

平成24年8月15日発行

第 18 号

大倉地区市民センター

Tel/ FAX 0237-55-2417

## 大倉地域元気な街づくり協議会委員研修

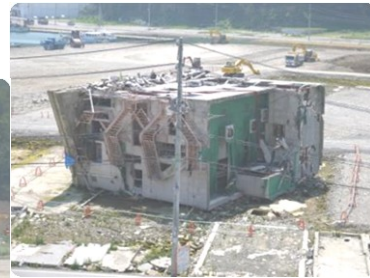
～東日本大震災被災地視察及び防災組織先進地視察【宮城県女川・仙台市福住町】～

大倉地域元気な街づくり協議会では、東日本大震災の被災状況とその後の復興状況を確認し、災害に強い防災組織の作り方を学ぶため、7月28日(土)に委員研修を行いました。

研修には26名の委員が参加し、震災により甚大な被害を受けた宮城県女川町では、地震と津波による被害の大きさに、改めて災害の恐ろしさを目の当たりにしてきました。

また、震災による被害を受けながら辛うじて津波の影響を直前で免れた仙台市宮城野区福住町では、自治会住民の安否をいち早く確認し、自治会内での自主的な避難所運営を行いながら、よりの被害の大きかった地域へ支援を行うなど、積極的な行動を行った自治防災組織の在り方を学ぶことができました。

講演を務めていただいた福住町町内会長菅原康雄氏からは、広範囲な災害の際には、行政等の支援や救援の範囲が多岐にわたり、全地域にはなかなか進



まないことが多く、いったん起こってしまった災害からより多くの方が助かる「減災」のためには、いちばん身近な自治組織の自主運営による短期的な災害対策の重要性を教えてくださいました。

支援体制についても、市町村等の支援協定のみならず、町内会や地域間での相互支援の大切さも学び、この研修を機会に、今後、福住町と大倉地域との相互援助等も検討したいと考えています。

今回の研修にあたり、お話をいただきました福住町菅原町内会長様をはじめ、ご対応いただきました町内会の方々ご感謝いたします。



# 大倉わくわくランド 「ぼくとわたしのわくわく夏休み」と「ミニ夏祭り」 ご参加・ご協力いただいた地域の皆さん ありがとうございます。

大倉わくわくランドでは、子ども達に豊かな経験を積ませ、生きる力を育んでもらうための居場所づくりのため多彩な事業を展開しています。

夏休みに入った子供たちを対象に、「ぼくとわたしのわくわく夏休み」として、1回目は、自由研究のアドバイスや紙ひこうきづくり、朝顔の花を使ったリトマス液の実験を行いました。2回目は、オリジナルまが玉づくりを行い、2時間かけて石を削り、まが玉やペンダント作りしました。3回目は、8月14日(火)に移動図書館「はやま号」の巡回にあわせ、オープンカフェを行い、本に親しみます。

また、恒例になりました「ミニ夏祭り」は、8月4日(土)に市民センター前駐車場で行われ、かき氷づくりや金魚すくい・水ヨーヨーつりなど夏の楽しいひと時を過ごしました。今年は、昔懐かしい飴細工師さんによる実演も行い、珍しい膨らます飴など、リクエストされたきれいな飴細工を次々に作る手さばきに、子供たちは見入っていました。

お手伝いいただいた大倉婦人会の方々をはじめ多くの皆さまからご協力いただきありがとうございます。



## 転うたた

大倉わくわくランドでは、「子どもアートプロジェクト 明日」が主催する、日本芸能ワークショップを9月23日(日)に大倉小学校体育館を会場に行います。

当日は、国際的に活躍する加藤木朗氏・木村俊介氏が中心になり活動する「和力」が太鼓や神楽・民族舞踊などを披露し、子供たちに教えてくれます。

地域の方々もご覧になれますのでお楽しみになってください。

詳しくは、後日配布する案内をご覧ください。

日本芸能

# 和力

WARIKI

大道芸、お囃子、笛・三味線、舞・おどり

花翁(ハナオキナ)



# 地域安心と活性化のため 大倉小学校跡地利用について 村山市に要望

5月から各地区代表14名による大倉小学校跡地利用検討委員会において検討してきました内容が、4回の委員会と視察を経てまとめられました。

8月7日(火)に、大倉地域元気な街づくり協議会会長及び各地区会長、並びに同行者として地元市議会議員とともに市役所を訪ね、佐藤清村山市長へ大倉小学校跡地利用に関する要望書をお渡ししました。

大倉地域として、災害や救急時に安心できる環境とともに、若者が集まれる環境を整備することにより、地域の振興に寄与できるように要望をまとめました。

佐藤市長からは、規模も大きく即答はできないものの、今後相談をしながら前向きに考えて行きたいとお話がありました。

提出しました要望については以下のとおりです。

## 大倉小学校跡地利用について

残暑の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、市政発展にご尽力いただくと共に、当地域においても生活環境の整備等にご配慮を賜り地域活性化のためにご尽力をされていることに心より感謝申し上げます。

さて、平成25年3月末をもって当地域唯一の学校である大倉小学校が閉校となり、当地域から子供たちの学校での元気な声が消えてしまうと考えると寂しく感じられます。

そこで、大倉小学校閉校後の跡地利用について大倉地域として何が望まれるかを大倉小学校跡地利用検討委員会を立ち上げ、地域将来の安心安全と活性化につながるよう検討してまいりました。

つきましては、災害救急時に安心できる環境が整えられるとともに、若者が集まる環境も整備され、地域の振興に寄与されるよう右記のとおり要望いたしますので、是非ご理解を賜り実現に向け特段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成24年 8月 7日

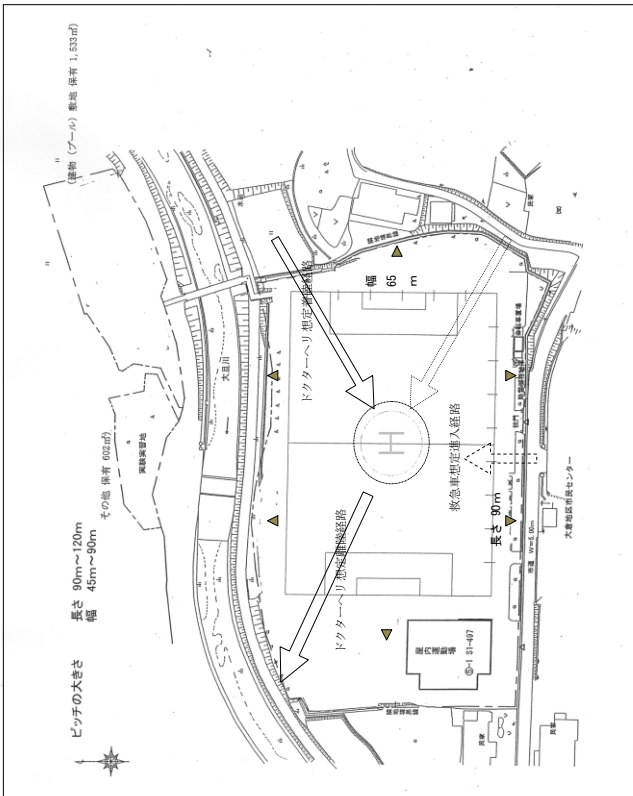
村山市長 佐藤 清 様

## 要 望 書

### 大倉小学校跡地利用について

大倉地域元気な街づくり協議会 会長 鈴木 忠 彦  
 大上地区会 会長 西山 眞  
 林崎地区会 会長 齋 藤 一 雄  
 金谷地区会 会長 奥 山 眞  
 行川地区会 会長 鈴木 忠 彦  
 中沢地区会 会長 鈴木 達 夫  
 新山地区会 会長 齋 藤 勝 男  
 南原地区会 会長 高 橋 正 四

- 地域の防災機能として、既存屋内運動場を大倉地域の収容避難所として引続き確保してもらいたい。
- 危険建物としての現校舎については、早急に解体を行い不審者の侵入などの住民不安を除いてもらいたい。
- 解体後の校舎敷地及び運動場敷地を利用し、金谷運動場において利用団体間で不足している運動場の整備を行ってもらいたい。
- 運動場については、村山市並びに近隣において整備されておらず、かつ維持管理が容易であり多数の利用が見込まれる、夜間照明を配した人工芝の多目的運動広場としてのサッカー場整備を行ってもらいたい。
- 運動場駐車場については、運動場に隣接する大倉イベント広場を使用することが可能です。
- 人工芝の運動場に整備することにより救急車両の進入も容易になることから、第9次村山市交通安全計画に盛り込まれている高度救急医療搬送体制の充実強化として、11月より県内において導入されるドクターヘリの中継離発着場として活用し、市内の救急業務体制の充実強化を図ってもらいたい。
- 運動場整備にあわせ、屋内運動場について入口・トイレの整備と共に運動場利用者が集待機等のできるクラブハウスを併設してもらいたい。
- プール敷地及び実習地敷地については、運動場と橋梁により往来が可能なることから、利用者及び地域住民が憩える親水公園としての整備を図ってもらいたい。
- 施設整備にあたり、大倉地域として施設的环境保全の一翼を担って行きたい。



# 交通安全協会大倉支部より 明るいやまがた夏の安全県民運動実施中

夏は長期休暇やしジャー、暑さによる気のゆるみや疲労から車や水の事故が多くなり、青少年の非行や街頭犯罪等も多くなる傾向にあります。

お盆やむらやま徳内まつりと続くこの時期に、これらの事故を防止し、青少年の健全な育成を図るため、8月19日(日)までの期間を「明るいやまがた夏の安全県民運動」として実施しています。

事故の無い安全な運転とともに、飲酒の機会が増えるこの時期に、飲酒運転は「しない、させない、飲ませない」よう、飲酒運転の撲滅に地域の皆さんで取り組みましょう。



# お知らせ

## 大倉地域のみなやまの足 10月から乗合タクシーが

運行されます。

村山市では10月から大倉地域の一部(行川地区、新山地区、中沢地区)におきまして、利用者の需要、要望に応じて「乗合タクシー」(デマンドタクシー)を運行する新しい公共交通体系の導入に向けた実証実験を行う予定です。

つきましては、地区住民の皆様を対象に利用方法や登録のしかたなどの説明会を開催いたしますので、是非ご出席ください。

- 新山地区 8月20日(月) 新山地区公民館 (老人クラブ対象) 午後1時30分
- 新山地区の方対象 午後6時30分
- 中沢地区 8月21日(火) 中沢地区公民館 (中沢地区の方対象) 午後7時
- 行川地区 8月23日(木) 行川地区公民館 (行川地区の方対象) 午後7時30分

※他の地区の方も一部利用できる場合がありますので、詳しくは各地区会長又は市民センターまでお問い合わせください。

## クマ出没！ ご注意ください！

8月7日未明に、中沢地区(小字岩神)園地にクマが出没し、作物等の被害が確認されました。

クマは一般的に人への警戒心が強い物といわれています。しかし、突然出遭った場合は本能的に襲ってくる場合がありますので、こつした遭遇を避け、被害を未然に防ぐために注意ください。

### 里を餌場と認識させない

人家の周りにクマの餌となりうる生ゴミや廃棄果実を放置せず適切に処分する。ペットフードなどは外に保管しない。

### 遇わないようにする

突然出遭わないうつぬき、クマの存在を知らせる。クマは夜間や朝夕などに活発に行動するため、付近での朝早くの作業の際には、音のする物を身につけ注意して作業する。

### 出遭った時に興奮させない

興奮すると襲ってくるので、大声など出さず、クマとの間に立木などの障害物を入れ、目を離さないでクマから離れてください。

大倉地区市民センターホームページ  
<http://www.city.murayama.lg.jp/shimin-center/ookura.htm>



「おおくら 市民センターだより」には、各種お知らせなど、いろいろな情報を掲載します。地域の皆さまが載せたい情報をお待ちしています。取材等も伺いますので、お気軽にお問い合わせください。